

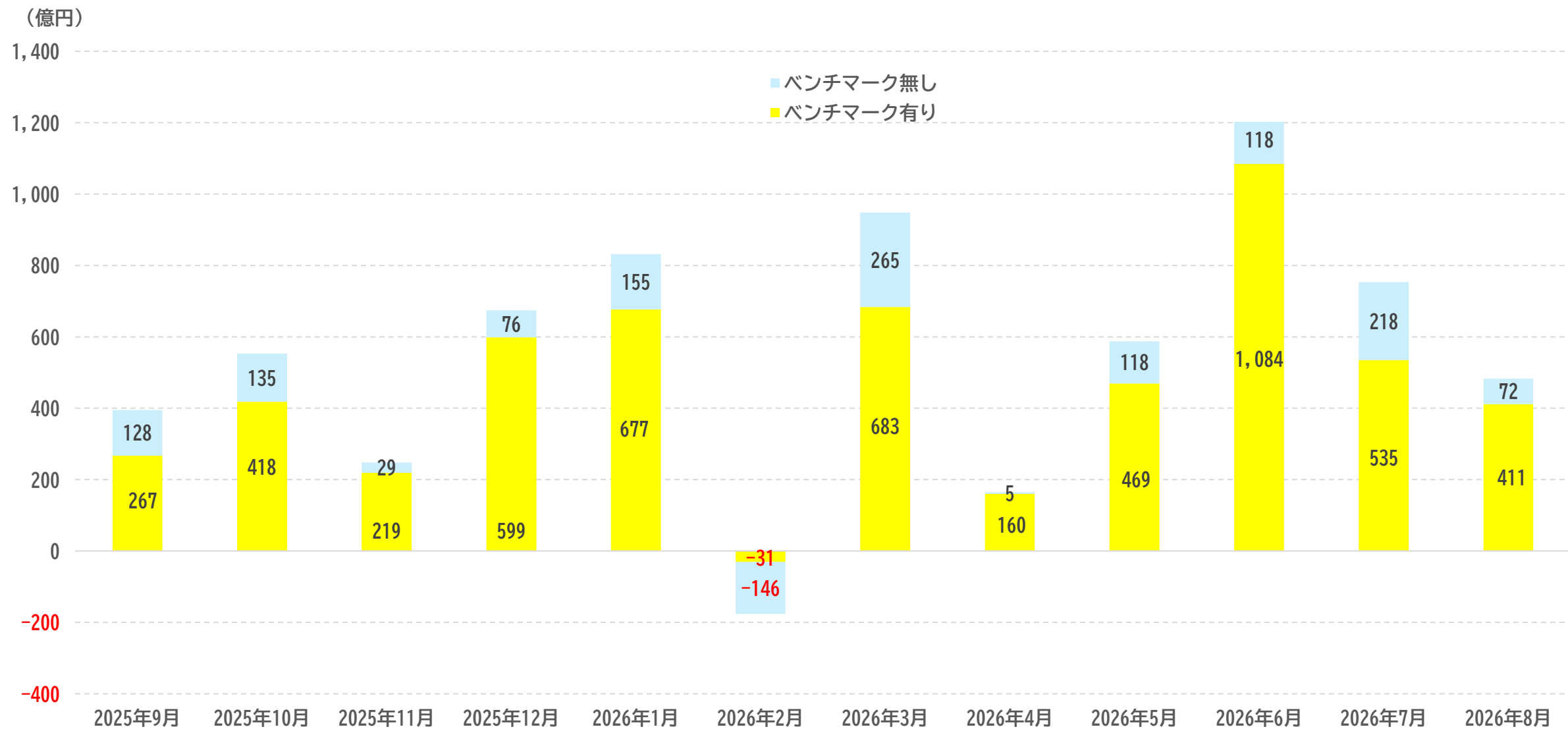
投信市場概況

Powered By Fund Monitor®
DC専用 2026年8月

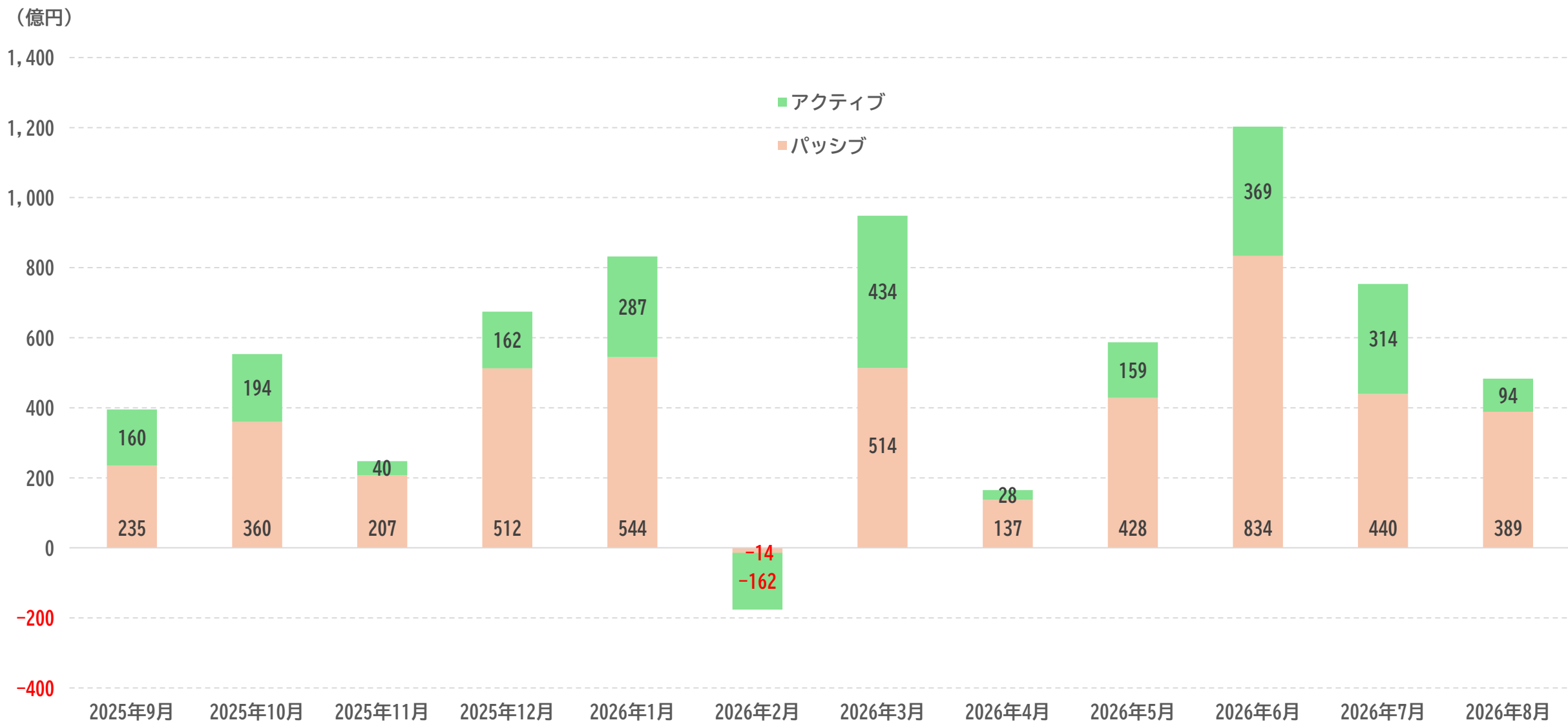
- 2026年8月の純資金流出入額は483億円の流入超過となり、過去12カ月平均を下回った。過去12カ月では、同年6月の1,203億円の流入超過が最高、同年2月の176億円の流出超過が最低となった。
- アクティブ・パッシブ別では、「アクティブ」が94億円、「パッシブ」が389億円のいずれも流入超過となった。「アクティブ」は過去12カ月平均を下回り、「パッシブ」は過去12カ月平均を上回った。
- 小分類別では、流入超過額が最大となった「グローバル株式型（無ヘッジ）」は142億円の流入超過となり、純資産額は前月から263億円増加した。流出超過額が最大となった「グローバル債券型（除く日本・無H）」は、前月の11億円の流入超過から11億円の流出超過に転じた。
- 投信会社別では、流入超過額が最大となった「野村」は206億円の流入超過となり、順位は前月の2位から1位に上昇した。過去1年間の純資金流出入額は2,566億円の流入超過で1位となり、純資産額は前月から1,332億円増加した。流出超過額が最大となった「三井住友DS」は19億円の流出超過となったものの、純資産額は前月から531億円増加した。

※ 本サマリーは掲載データをもとに生成AIを利用して作成し、当社が内容を確認・編集したものです。

月次純資金流出入額推移（運用会社公表ベンチマーク別）



月次純資金流出入額推移（アクティブ・パッシブ別）



月次純資金流出入額（業種別、為替別）

順位	業種名	ファンド数	純資産額 (億円)	純資金流出入額1カ月 (億円)	純資金流出入額1年 (億円)
1	全業種	468	199,785.7	472.4	6,526.8
2	E S G投資	14	1,149.6	9.1	111.7
3	インパクト投資	2	179.5	5.4	28.6
4	建設・不動産	25	3,071.1	3.0	39.5
5	自動車	1	165.9	1.6	15.8
6	通信・プラットフォーム	1	53.1	0.9	16.8
7	医薬・ヘルスケア	1	27.0	0.2	1.7
8	公益・インフラ	3	16.7	0.1	0.9
9	テクノロジー総合	1	0.3	0.0	0.2
10	地球環境	4	185.9	0.0	2.3
11	ゴールド	2	0.0	0.0	0.0
12	その他	2	2,408.3	-9.9	-79.2

順位	為替ヘッジ区分	ファンド数	純資産額 (億円)	純資金流出入額1カ月 (億円)	純資金流出入額1年 (億円)
1	無ヘッジ	298	149,781.2	365.9	4,925.4
2	ー	163	48,164.4	104.0	1,581.1
3	適時ヘッジ	19	2,104.1	10.3	90.8
4	部分ヘッジ	31	5,794.1	6.7	92.6
5	ドル円ヘッジ	1	22.6	-0.2	0.7
6	フルヘッジ	12	1,176.6	-3.8	-25.7

月次純資金流出入額（小分類別上位・下位10分類）

順位	小分類	ファンド数	純資産額 (億円)	純資金流出入額1カ月 (億円)	純資金流出入額1年 (億円)
1	グローバル株式型（無ヘッジ）	26	3,924.8	141.6	834.4
2	北米株式型（無ヘッジ）	8	3,869.3	111.9	1,218.4
3	グローバル株式型（除く日本・無H）	35	72,426.2	61.6	801.3
4	TOPIX連動型	25	22,779.8	53.1	799.3
5	日経225連動型	14	3,435.6	47.0	503.3
6	国際バランス・安定型	64	12,707.9	41.6	533.2
7	国際バランス・安定成長型	68	23,257.2	22.8	525.7
8	国際バランス・成長型	60	18,674.1	22.7	491.2
9	国内株式・グロース型	22	4,379.4	10.0	155.0
10	国内株式・ミックス型	30	4,452.2	4.0	118.4

順位	小分類	ファンド数	純資産額 (億円)	純資金流出入額1カ月 (億円)	純資金流出入額1年 (億円)
36	グローバル債券型（除く日本・無H）	32	8,667.5	-11.5	113.5
35	国内債券・インデックス型	22	5,456.2	-11.3	-177.1
34	新興国株式型（全域）	7	4,646.1	-6.0	481.9
33	国内不動産投信型	14	1,696.1	-3.8	-13.3
32	新興国債券型（無ヘッジ）	5	1,043.6	-2.2	48.1
31	国内債券・アクティブ型	13	727.4	-2.1	-33.5
30	国際バランス・リスク制御型	20	6,146.0	-1.9	-18.4
29	グローバル債券型（除く日本・ヘッジ）	1	96.9	-1.7	-1.5
28	グローバル株式型（ヘッジ）	3	124.6	-0.7	-6.0
27	グローバル債券型（ヘッジ）	5	76.5	-0.7	-4.0

※ 為替ヘッジなしは、データベース上の文字数の上限により「無ヘッジ」、「無H」のいずれかで表記

月次純資金流出入額（投信会社別上位・下位10社）

順位	投信会社略称	ファンド数	純資産額 (億円)	純資金流出入額1カ月 (億円)	純資金流出入額1年 (億円)
1	野村	72	47,340.4	206.3	2,565.6
2	三井住友トラスト	74	37,629.0	113.1	732.9
3	ニッセイ	43	12,004.2	101.6	1,393.0
4	AM-One	59	26,178.1	64.0	1,028.5
5	ブラックロック	2	766.9	13.3	217.0
6	楽天	1	481.6	11.1	89.8
7	バーテックス	4	256.8	4.5	31.5
8	アモーヴァ	22	6,531.5	4.3	159.4
9	フィデリティ	6	1,332.8	3.6	-4.4
10	SBI	2	233.5	2.6	27.7

順位	投信会社略称	ファンド数	純資産額 (億円)	純資金流出入額1カ月 (億円)	純資金流出入額1年 (億円)
37	三井住友DS	50	16,697.2	-19.2	-151.1
36	レオス	3	1,225.8	-5.8	13.3
35	シュローダー	5	812.5	-5.7	-21.4
34	大和	31	13,878.5	-5.2	-235.0
33	三菱UFJAM	64	30,283.0	-4.3	830.4
32	日立	7	3,051.3	-2.7	-11.6
31	Sストリート	6	786.0	-1.5	-32.5
30	UBS	1	124.7	-0.8	-5.1
29	GS	5	183.3	-0.5	-1.9
28	ラッセル	5	1,153.1	-0.4	-1.2

抽出条件、定義等

- 国内公募追加型株式投信のうち、DC（確定拠出年金専用）専用投信のみを対象
- 純資金流入額はデータの公表日によってはABIC推計値を使用している場合あり
- 純資産額、純資金流入額は億円未満を四捨五入
- 「ベンチマーク」、「アクティブ・パッシブ」の各分類は、直近データに基づいて遡及して計算しており、計算期間内での変動は考慮していない
- 「ベンチマーク」は、各ファンドごとにABICが運用会社公表の指数の有無について判断
- 「アクティブ・パッシブ」は、ABICの投資手法で「パッシブ」はTOPIX、日経225、日経300、JPX日経400、地域経済、インデックス、短期、インデックス運用、期間マッチ、変動金利、期間バランス（ラダー型）、バランス（インデックス運用）のいずれかに属するファンド、「その他」はブル・ベアのいずれかに属するファンド、「アクティブ」は「パッシブ」と「その他」以外のファンド（ただし、属するファンドが無くなった投資手法は集計対象から除外しており、他の集計基準や過去のデータとは一致しない場合がある）
- ABICの「為替」分類の定義は、「無ヘッジ」は原則ヘッジしない、「フルヘッジ」はヘッジ比率が原則100%、「ヘッジ」はヘッジ比率80%以上を維持、「適時ヘッジ」はヘッジ比率を市場環境に応じて変更、「部分ヘッジ」は複数資産のうち一部資産について為替ヘッジを行い、資産配分を変更、「ドル円ヘッジ」は外貨建資産（米ドル換算額）に対して米ドル売り・円買いの為替ヘッジを実施



株式会社NTTデータ・エービック